

前回審議会（R6.8）における審議会意見について

連番	現頁	意見内容
		対応内容
1	本編 70・87 概要版 8・13	施策の柱 4-1「緑にふれあえ、」という表現が、読点があることにより命令に見えてしまうため、読点をとるか表現を変えた方がよい。
		「緑とふれあい水と親しめる空間の確保」に修正しました。
2	本編 75 概要版 9	目標値に「※基準値から」とあるが、何を意味しているのか。
		「※基準値から 50%削減」と修正し、併せて P76 の目標値に「※基準値から 52%削減」と追加しました。
3	本編 83・91・ 92・98 概要版 9	大気・水質・騒音の環境基準値超過件数など、基準値と目標値が同じ取組目標について、「0件」だけではなく、現状を維持することが分かるように表記した方がよい。
		各目標値に、「※現状を維持する」を追加しました。
4	本編 84・96 概要版 9	広報おたるで発信件数について、広報おたるは年 12 回の発行であるが年 12 件以上とすると臨時発刊があると捉えられる可能性もある。
		誤認を与えないよう下記の注釈を追加しました。 「注）広報おたる 1 回の発行につき、複数の情報を掲載した場合は掲載毎に件数を計上」
5	本編 109	・水産業の分野の増養殖などについて、「海洋の酸性化による貝類養殖への影響」とあるが、海洋の酸性化は起こり得らないのではないかと。 ・pH が下がることを酸性化と表現する場合もあるが、海洋が酸性に傾くことは考え難い。
		海洋の酸性化に関する記述を削除しました。
6	本編 116 概要版 19	・推進体制と年次報告の体制の図は、別々に整理した方がよい。 ・計画の推進体制の図に、市民と審議会との関係がないが、あった方がよい。
		推進体制と年次報告の図を分けて整理するとともに、市民・事業者を図の上に配置し、市民・事業者と審議会の関係に「参画」を追加しました。
7	概要版 10～ 15	現状と課題は本編の内容を整理して掲載されているが、施策の部分は文字も小さく本編の内容を無理に詰め込んだ印象を受ける。
		施策の省略は困難であるため、フォントサイズを上げ、レイアウトを調整しました。